

特定行為研修

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

山梨県立大学

特定行為研修区分別科目 指導者一覽

氏名	所属／職位
講義	
平田 修司	このはな産婦人科 理事 医師/山梨大学医学部 名誉教授
窪川 佳世	山梨県立大学 認定看護師教育課程〈感染管理〉/特任講師
演習	
平田 修司	このはな産婦人科 理事 医師/山梨大学医学部 名誉教授
窪川 佳世	山梨県立大学 認定看護師教育課程〈感染管理〉/特任講師
川村 優紀子	山梨県立中央病院 看護部 副看護部長 集中ケア認定看護師/特定行為研修修了看護師
林 尚三	富士病院 看護部 集中ケア認定看護師/特定行為研修修了看護師
実習	
平田 修司	このはな産婦人科 理事 医師/山梨大学医学部 名誉教授
窪川 佳世	山梨県立大学 認定看護師教育課程〈感染管理〉/特任講師
川口 義樹	東京医療センター 消化器外科医師
森泉 元	東京医療センター 診療看護師
利光 恵利子	東京医療センター 診療看護師
丸山 傑	山梨大学医学部附属病院 第一外科学講座助教
佐藤 光明	山梨大学医学部附属病院 消化器内科特任講師
河口 賀彦	山梨大学医学部附属病院 第一外科学講座講師
鷹野 敦史	山梨県立中央病院 肝胆膵外科部長
池田 督司	山梨県立中央病院
川村 優紀子	山梨県立中央病院 副看護部長
夏目 康行	山梨県立中央病院 主任看護師
望月 美希	山梨県立中央病院 主任看護師
宮本 和馬	山梨県立中央病院 主任看護師
鷹野 陽平	山梨県立中央病院 主任看護師
三枝 杏子	山梨県立中央病院 看護師
但田 佳那	山梨県立中央病院 看護師
三森 加奈子	山梨県立中央病院 主任看護師
小林 大祐	山梨県立中央病院 看護師
小池 貴之	山梨県立中央病院 主任看護師
内田 雪妃	山梨県立中央病院 看護師
山本 慎也	山梨県立中央病院 看護師
楠 沙織	山梨県立中央病院 看護師
田中 青流	山梨県立中央病院 主任看護師
田中 美緒	山梨県立中央病院 主任看護師
土田 峻	山梨県立中央病院 主任看護師

有泉 凱	山梨県立中央病院 看護師
深沢 佳織	山梨県立中央病院 看護師
辻 陽子	山梨県立中央病院 看護師
植田 晋介	富士病院
伊藤 紗綾香	富士病院 医長
玉岡 成文	富士病院 主任
山本 和哉	富士病院
林 尚三	富士病院 師長
鈴木 章司	山梨厚生病院 診療体制統括部長
松村 国佳	山梨厚生病院 診療部長
宮原 和弘	山梨厚生病院 診療部長
加賀見 さおり	山梨厚生病院 師長
久保田 正春	日下部記念病院 院長
玉置 寿男	日下部記念病院 副院長
杉山 仁視	日下部記念病院 部長
丹羽 政信	日下部記念病院 医師
丹羽 麻代	日下部記念病院 医師
山口 雅靖	日下部記念病院 医師
望月 崇弘	日下部記念病院 課長
梶原 里美	日下部記念病院 看護師
西 慎治	日下部記念病院 看護師

講師一覽

特定行為区分	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		
	学ぶべき事項	講師	所属
(共通)栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	循環動態に関する局所解剖	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長
	循環動態に関する主要症候	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長
	脱水や低栄養状態に関する主要症候	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長
	輸液療法の目的と種類、病態に応じた輸液療法の適応と禁忌	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長
	輸液時に必要な検査	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長
	輸液療法の計画	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長
(A)持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	低栄養状態に関する局所解剖、低栄養状態の原因と病態生理	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授
	低栄養状態に関するフィジカルアセスメント、低栄養状態の判断、検査	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授
	高カロリー輸液の適応と使用方法、高カロリー輸液に関する栄養学、高カロリー輸液のリスク(有害事象とその対策等)	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授
	高カロリー輸液の種類と臨床薬理、高カロリー輸液の副作用と評価	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授
	<選択式>高カロリー輸液の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む)	井上 聡己	福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 主任教授
	<選択式>高カロリー輸液の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む)	森田 圭一	兵庫県立こども病院 小児外科
(B)脱水症状に対する輸液による補正	脱水症状に関する局所解剖、脱水症状の原因と病態生理	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院病院長／岡山大学病院
	脱水症状に関するフィジカルアセスメント、検査	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院病院長／岡山大学病院
	脱水症状に対する輸液による補正に必要な輸液の種類と臨床薬理	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院病院長／岡山大学病院
	脱水症状に対する輸液による補正の適応と使用方法、副作用、脱水症状の程度の判断と輸液による補正のリスク(有害事象とその対策等)	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院病院長／岡山大学病院
	<選択式>脱水症状に対する輸液による補正の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む)	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院病院長／岡山大学病院
	<選択式>脱水症状に対する輸液による補正の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む)	青木 一憲	兵庫県立こども病院 小児集中治療科

研修概要

研修内訳	講義(14時間)	視聴時間 45 分+ 講義確認テスト 15 分	
	演習(2時間)	視聴時間(イントロ)5 分+グループワーク 45 分+視聴時間(解説)10 分 ※演習は e-ラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
	試験	科目試験合計	60 分
		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	24 分
持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整		18 分	
脱水症状に対する輸液による補正		18 分	
評価方法	講義:e-ラーニングの受講及び講義確認テスト		
	演習:ペーパーシミュレーションによる演習及び模擬講義		
	試験:e-ラーニング上もしくは集合で実施		
参考図書	※全日病 S-QUE 提供の講義資料をダウンロード 1. 杉田学, 輸液療法の進め方ノート—体液管理の基本から手技・処方までのポイントがわかる実践マニュアル 第2版, 羊土社, 2009. 2. 清水健一郎, 治療に活かす!栄養療法ははじめの一步, 羊土社, 2011. 3. 磯崎泰介, 臨床医のための栄養療法の進め方ノート—基本から病態別の処方例までポイントがわかる実践マニュアル, 羊土社, 2011.		
備考	<ul style="list-style-type: none"> * e-ラーニングにおける講義は、各自のパソコンで、自宅等で視聴して差し支えない。 * 質問事項がある場合は、全日病 S-QUE が提供する掲示板を参照、あるいは指導者まで連絡、適宜指導を受ける。 * 指導者は、インターネットを通じて受講生の履修状況、設問の回答内容を確認し、必要に応じて指導、質疑に対する応答を行う(祝祭日を除く)。 * 1回以上レポートの提出を行い、指導者から添削指導を受ける。レポートの内容は学修進度に応じて履修開始後、連絡される。 * 演習は、講義室に集合し、全日病 S-QUE が提供する教材に沿って行う。 * 科目修了試験(筆記試験)は、各時間終了後に行われる確認テストを参考に出題し、指導者の監督の下、本人確認を行った上で、講義室で集合して行う。 * 指導者は、必要に応じて受講者の理解を面接等で確認し、理解が不十分と判断された場合は、臨時的講義を行う。講義の場所は、講義室とする。 		

科目名	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	時間数	17 時間	
特定行為名	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整			
指導者	平田 修司(講義・演習)、窪川 佳世(講義・演習)、藤原 麻由礼(講義・演習) 林 尚三(演習)、川村 優紀子(演習)			
概要	医師の指示の下、手順書により、身体所見(食事摂取量、栄養状態等)及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整を行う。			
単元	時間	講義形態	講師	指導者
(共通)栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識				
1) 循環動態に関する局所解剖	1	講義	有嶋	
2) 循環動態に関する主要症候	1	講義	有嶋	
3) 脱水や低栄養に関する主要症候	1	講義	有嶋	
4) 輸液療法の目的と種類、病態に応じた輸液療法の適応と禁忌	1	講義	有嶋	
5) 輸液に必要な検査	1	講義	有嶋	
6) 輸液療法の計画	1	講義	有嶋	平田 窪川 藤原
(A)持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整				
1) 低栄養状態に関する局所解剖、低栄養状態の原因と病態生理	1	講義	井上	林・川村 (演習のみ)
2) 低栄養状態に関するフィジカルアセスメント、低栄養状態の判断、検査	1	講義	井上	
3) 高カロリー輸液の適応と使用方法、高カロリー輸液に関する栄養学、高カロリー輸液のリスク	1	講義	井上	
4) 高カロリー輸液の種類と臨床薬理、高カロリー輸液の副作用と評価	1	講義	井上	
<選択式>高カロリー輸液の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)	1	演習	井上 森田	

特定行為名	脱水症状に対する輸液による補正			
指導者	平田 修司(講義・演習)、窪川 佳世(講義・演習)、藤原 麻由礼(講義・演習)、林 尚三(演習)、川村 優紀子(演習)			
概要	医師の指示の下、手順書により、身体所見(食事摂取量、皮膚の乾燥の程度、排尿回数、発熱の有無、口渇や倦怠感の程度等)及び検査結果(電解質等)等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、輸液による補正を行う。			
単元	時間	講義形態	講師	指導者
(B)脱水症状に対する輸液による補正				
1) 脱水症状に関する局所解剖、脱水症状の原因と病態生理	1	講義	薬師寺	
2) 脱水症状に関するフィジカルアセスメント、検査	1	講義	薬師寺	平田
3) 脱水症状に対する輸液による補正に必要な輸液の種類と臨床薬理	1	講義	薬師寺	窪川
4) 脱水症状に対する輸液による補正の適応と使用方法、補正の副作用、脱水症状の程度の判断と輸液による補正(有害事象とその対策等)	1	講義	薬師寺	藤原
<選択式>脱水症状に対する輸液による補正の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む)	1	演習	薬師寺 青木	林・川村 (演習のみ)
科目修了試験	1	試験		

科目名	臨地実習		
指導者	平田 修司、窪川 佳世		
ねらい	<p>1) 特定行為研修の共通科目および区分別科目の講義・演習によって習得した実践的な理解力、思考力および判断力ならびに高度かつ専門的な知識および技能を向上する能力を統合することで、医師の指示のもと、手順書により特定行為を行う能力を身に付けることができる。</p> <p>2) 多様な臨床場面において、医療関連感染症および耐性菌感染症の重症化を防ぎ、治療の早期開始と適正化を図るために、診断のプロセスと治療方針を理解し、手順書により必要な特定行為を安全に実践するための能力を身につけることができる。</p>		
	単元	実習時間	
	<p>1) 身体所見および検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認できる。</p> <p>2) 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整の必要性を判断し、治療計画が立案できる。</p> <p>3) 脱水症状に対する輸液による補正の必要性を判断し、治療計画が立案できる。</p> <p>以下の状況の事例を受け持ち、主要疾患のフィジカルアセスメント、病態の判断、特定行為の必要性の判断、実施する。</p> <p>(1)持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 5 症例以上</p> <p>(2)脱水症状に対する輸液による補正 5 症例以上</p>		
評価方法	実習出席日数、実習態度、実習記録、自己の課題達成度から実習評価基準に基づき総合的に評価する。		